

## マルコの福音書10章1-16節 キリストにつき従う者は、家族に忠実を尽くす

今日の聖書箇所のはじめは、家族です。マルコの福音書10章1~16節では、結婚と離婚、そして子どもの存在という2つの異なる観点から家族が取り上げられています。家族は、今日の西洋及びアジアの社会構造において、最も脅威にさらされている領域であるのは間違いないと思います。トランスジェンダー革命が世界を席卷しています。多少その進み方が緩やかかもしれませんが、アジアでも起こっていることです。国によりませんが、結婚の40~50%が離婚に終わるという事実があります。若者のより多くが結婚を先延ばしにしたり、まったく結婚しないようになっていることから、結婚に身を捧げるといった概念の欠落がみられます。人工妊娠中絶率が上昇し、意図しない妊娠の61%、年間7,300万の胎児の命が中絶に終わっていると言われていることから、妊娠と子どもに対する脅威もあります。この家族の問題を、人類の罪を十字架の上で償うためにエルサレムへ向かうイエスが、その旅の途中であえて時間をとって取り上げています。ですからそれは、イエスに従う者たちがキリストの心を理解しようとするにあたって、かなり重要なことだったはずで

まずマルコによる福音書10章1~12節を読み、イエスが家族について教えるにあたり、離婚について何を言われているかを見てみましょう。イエスは立ち上がり、そこからユダヤ地方とヨルダンの川向こうに行かれた。群衆がまたイエスのもとに集まって来たので、再びいつものように彼らを教え始められた。<sup>2</sup>すると、パリサイ人たちがやって来て、イエスを試みるために、夫が妻を離縁することは律法にかなっているかどうかと質問した。<sup>3</sup>イエスは答えられた。「モーセはあなたがたに何と命じていますか。」<sup>4</sup>彼らは言った。「モーセは、離縁状を書いて妻を離縁することを許しました。」<sup>5</sup>イエスは言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、この戒めをあなたがたに書いたのです。<sup>6</sup>しかし、創造のはじめから、神は彼らを男と女に造られました。<sup>7</sup>『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、<sup>8</sup>ふたりは一体となる』のです。ですから、彼らはもはやふたりではなく、一体なのです。<sup>9</sup>こういうわけで、神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。」<sup>10</sup>家に入ると、弟子たちは再びこの問題についてイエスに尋ねた。<sup>11</sup>イエスは彼らに言われた。「だれでも、自分の妻を離縁し、別の女を妻にする者は、妻に対して姦淫を犯すのです。<sup>12</sup>妻も、夫を離縁して別の男に嫁ぐなら、姦淫を犯すのです。」イエスはエルサレムに向かって旅を続け、目的地に近づいてきたところです。いつものように群衆が集まり、イエスは教えを説いています。そしてここでも、この教えは、宗教的指導者たち、特にパリサイ人の質問に応答する形で説かれています。そして彼らの質問には、イエスを人々とのトラブルに巻き込み、またイエスを批判するきっかけを見つけようとする意図がありました。先ほどの聖書箇所には、パリサイ人がイエスを試みるために質問したと書いてあります。実際、パリサイ人は、質問したことに対し、一定の答えがあると信じていました。ユダヤの律法は離婚を認めており、ユダヤ人社会のどの派閥も、離婚を制限すべきだとは考えていませんでした。意見が分かれていたのは、どのような場合に離婚が許されるべきかという点でした。パリサイ人たちは、より魅力的な妻が欲しい、といった浅はかな理由も含め、ほぼどんな場合でも離婚でき、ほとんど無制限に離婚は可能であると信じていました。ですから、イエスの答えによって彼らの考えが改められようとしているわけではありませんでした。しかしイエスはパリサイ人の悪意ある質問に答え、旧約聖書の律法を用い、神のみこころにおいて、結婚の契約がいかに重要であることを示されました。離婚の問題については、聖書を信じるクリスチャンの間でも意見の相違があるかもしれません。しかし今日の聖書箇所から明らかなのは、神の目から見た離婚は非常に重く深刻な問題であり、普通のことのように行われるべきではないということです。結婚を、簡単に放棄できる、使い捨てのもののように扱うことは許されないということです。ここでイエスが述べていることには3つの重要な部分があり、これを理解すれば、キリストに従う者にとって離婚は難しい選択となるはずで

イエスの論における1つめの重要な部分は、聖書で初めて離婚が言及された箇所に基づいています。3~4節にそれが示されています。<sup>3</sup>イエスは答えられた。「モーセはあなたがたに何と命じていますか。」<sup>4</sup>彼らは言った。「モーセは、離縁状を書いて妻を離縁することを許しました。」このパリサイ人たちのイエスに対する答えは、申命記24章1節に基づいています。人が妻をめとり夫となった後で、もし、妻に何か恥ずべきことを

見つけたために気に入らなくなり、離縁状を書いてその女の手に渡し、彼女を家から去らせ、…とあります。ここで、パリサイ人の答えは、申命記で神がモーセを通して言われたことと微妙に異なり、細部が抜けていることにお気づきでしょうか。パリサイ人は、この神のことばに対し、離縁状を書けばどんな妻でも追い出せるものだという解釈をつけ、どんな理由でも離婚は許されると考えていました。この当時、妻の側には何も救済策がありませんでした。基本的に、社会のすべてが女性に不利であり、宗教的に最も敬虔であるとされる人々でも同じようにふるまっていました。しかしパリサイ人の応答は、申命記において神が与えている離婚についての戒めに対し、適切ではありません。その理由をイエスの言葉に見てみましょう。5節には次のようにあります。5 イエスは言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、この戒めをあなたがたに書いたのです。申命記の神のことばは、全く自由に離婚する許可を与えているものではなくありません。パリサイ人はそれを許可であると解釈しましたが、イエスは、制限であるとみなしています。神は、離婚は社会的に男性よりも女性にはるかに深刻な影響を与える一方、男性は新しい妻を得ようとするをお分かりであったことから、申命記での戒めにおいて、離婚をより難しくし、男性が妻と離婚しようとする際の男性の責任を、より重くするような手続きを与えているのです。この戒めによれば、男性はなぜ離婚を求めるのか、その理由を正式な離縁状に記載しなければなりません。パリサイ人は申命記の該当箇所を部分的にしか示していないことに注目してください。全体を読むとはっきりと、「妻に何か恥ずべきことを見つけたために」と書いてあります。ユダヤ社会には、この箇所をより厳格に解釈し、姦淫の場合にのみ適用されるとする考え方もありましたが、パリサイ人たちは、「恥ずべきこと」に対する解釈を大幅に拡大し、夫が妻について気に入らないことすべてを意味するとみなしていたのです。このように、パリサイ人たちは離婚できる理由を制限するのではなく、いつでも、どんな形でも離婚することを許可するような解釈をつくりだしていました。そこで旧約聖書の戒めに立ち返らせることで、イエスは第一に、離婚は当初から制限されており、普通になされるべきことではなかったと指摘したのです。

さらにイエスは、離婚が正常なことではなく例外であるとされる理由を指し示します。6~7節には次のようにあります。<sup>6</sup> しかし、創造のはじめから、神は彼らを男と女に造られました。<sup>7</sup> 『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、<sup>8</sup> ふたりは一体となる』のです。ですから、彼らはもはやふたりではなく、一体なのです。<sup>9</sup> こういうわけで、神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。」イエスは第二に、結婚がそもそも神の創造の一部として確立されたものであるという事実に基づき、結婚の神聖さと永続性を指摘しています。それは創造において、私たちが男と女として創造されたことと結びついています。ですから、人間の立場から、結婚を成立させたり、解消したりするのは裁判所や政府であるとき、私たちは結婚を誤解しているのです。政府が男性2人、女性2人でも結婚できると言ったからといって、それは真の結婚ではありません。そういったケースも結婚と呼ぶことは、真理に対する偽りです。男性や女性が、自分は本当は男や女ではないと思い、自分を変えようとし、反対の性別であると自称し始めたら、それは真の自分についての偽りです。性別とそれに基づく性的特徴や行動は神によって定められ、それが究極的に現わされるのが、2人の異性の結婚による結びつきです。ですから結婚を軽く扱ったり、苦しくなったら別ればよいと考えることは、結婚の本質に対する誤解です。結婚とは、男性と女性が神によって結び合わされることであり、極端な例外を除き、その2人を引き離してはならないのです。

そして11節に、イエスの教えの3つ目の部分があります。<sup>11</sup> イエスは彼らに言われた。「だれでも、自分の妻を離縁し、別の女を妻にする者は、妻に対して姦淫を犯すのです。<sup>12</sup> 妻も、夫を離縁して別の男に嫁ぐなら、姦淫を犯すのです。」これまでのパリサイ人の反応はここには書かれていませんが、イエスが述べられてきたことに対し、弟子たちはもっと知りたがっていました。イエスの教えは、社会において教えられていることと全く異なっていたからです。そこでイエスは、弟子たちに答え、さらに教えを説いています。ところで、この箇所を読んで、「離婚した後は一切再婚してはならない」ということもできます。実際そう解釈するクリスチャンもいま

す。イエスの言葉はこのとおりであって、確かに離婚が深刻なことであるという事実を考えさせようとしていましたが、申命記においてさえ、離婚は、その人を解放し、再婚する自由を与えることを意味していました。しかしここで知っておくべきなのは、ユダヤ社会において、男性が妻を不当に扱ったとみなされたり、姦淫によって、妻に対する不義を犯したと考えられたりすることはなかった、ということです。ある男性がほかの男性の妻と姦淫したとき、その行為はその男性に対する不義とみなされても、自分の妻に対する不義とは考えられていなかったのです。ここでも、ユダヤ社会では結婚に対する神の定めが捻じ曲げられ、男性が妻と神とに対し罪を犯すことを許し、咎めないでいたのです。もちろん、イエスは男性だけが罪を犯す可能性があると言っているわけではありません。夫または妻を離縁する場合において、男性も女性も、共に罪を犯している可能性があると言っているのです。可能性がある、というのは、ほかの聖書箇所を見ると、離縁する側が罪にならない離婚の例もあることが示されているといえるからです。マタイの福音書5章32節で、イエスは次のように述べています。しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることとなります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになるのです。これは、配偶者の姦淫や性的不道徳が理由である場合、離婚は許されている（離婚するよう命じてられているわけではない）ことを示しています。また、コリント人への手紙第一7章は、配偶者が未信者であって、その配偶者が結婚関係から去ろうとする場合は、離婚の理由となることを示しているようです。コリント人への手紙第一7章15節には、次のようにあります。<sup>15</sup> しかし、信者でないほうの者が離れて行くなれば、離れて行かせなさい。そのような場合には、信者である夫あるいは妻は、縛られることはありません。神は、平和を得させようとして、あなたがたを召されたのです。さらに、聖書からは、虐待の場合についても考えられます。誰でも、自分自身や自分の子どもの身を危険にさらすことを強いられるべきではありません。このように、聖書全体と照らし合わせ、イエスは離婚全てを非難しているわけではなく、男性にも女性にも同じ基準が適用されると述べているようです。実に、イエスはこのように述べることで、妻や女性全般の地位を大きく高めているのです。

このようにイエスは、まず結婚に対するパリサイ人の誤った理解について教えました。次にイエスは、子どもに対する弟子たちの誤解に応答し、もう一つの問題、つまり家族について教えます。13~16節には次のようにあります。<sup>13</sup> さて、イエスに触れていただくこと、人々が子どもたちを連れて来た。ところが弟子たちは彼らを叱った。<sup>14</sup> イエスはそれを見て、憤って弟子たちに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。邪魔してはいけません。神の国はこのような者たちのものなのです。<sup>15</sup> まことに、あなたがたに言います。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」<sup>16</sup> そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。先日の説教で、当時の子どもは、いまと同じように愛を受けて育てられる存在ではなかった、と述べました。子どもである期間は、大人になって価値ある人間として受け入れられるまで、親が辛抱し、社会が我慢するものと思われていました。ここでは弟子たちが、キリストではなく、当時の社会に影響を受けた態度で子どもたちを扱っていることがわかります。キリストのように子どもを扱うこととは、子どもたちを受け入れ、愛することです。子どもは、やっかいなもの、人生において我慢しなければならない一段階とみなされるのではなく、神からの賜物として受け入れるべきものです。この世のすべての子どもは、神のかたちに造られた、かけがえのない存在です。だからこそ、人工妊娠中絶は極めてひどい罪なのです。無防備な胎児という人間を殺し、子宮の外に出て生きる機会さえ与えないということは、その子の持つ神のかたちへの侮辱です。殺す、という最もはなはだしい侮辱です。

ここで子どもたちを受け入れることで、イエスは、子どもを育てるにあたっての目標は何であることを示しています。それは、子どもたちに神の国を指し示すことです。結婚が単なる使い捨ての関係でないように、子育ても、ユダヤ社会が考えていたような、単純に子どもたちを大人になるまで育てることではありません。子育ては、イエス・キリストにあっての救いによってもたらされる神の国を、子どもに指し示すことです。親である皆さんの最も大切な目標は、よい学歴、ス

スポーツや音楽で優秀になることではありませんし、いずれよい配偶者を見つけること、安全や健康ですらありません。最も重要な目標は、イエスを知り、イエスに従うように子どもを教え育てることです。わたしたちはそうして神の国に入ること、神は、それを子供に教える機会を親に与えているのです。教会も手助けをしますが、子どもを教え育てるのは教会の役割ではありません。それは両親の役割です。また、イエスはこの子どもたちを通して、私たちすべてに当てはまる、より広い教えを説いています。先週の聖書箇所イエスが子供を取り上げたときと同じように、ここでイエスが説いているのは、子どものような信仰を持つことについてではありません。また、一部の人々が解釈するように、子どものように罪がないこと、について説いているわけでもありません。実際、私たちはすべて罪を犯しているのです。ローマ人への手紙3章23節に、<sup>23</sup> **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**とあるとおりです。これにはあなたの子どもも含まれます。目を向けるべき点は、子どもたちの無力さです。ここで子どもたちと訳されている単語は、乳幼児を意味していると考えられます。おそらく、自分では何もできないとても小さな子どもです。私たちは皆、このようにして、イエスのもとに行かなければなりません。家庭で、教会で、街で子どもを見ると、神の御前においては私たち自身も、子どもたちと同じ状態であることを知るべきです。私たちは神を必要としています。私たちは、神から離れては無力なのです。ちょうど赤ちゃんが、その両親がどれだけ自分を愛しているかを完全にはわからないように、私たちも罪のため、神が私たちを愛しておられることを知る事ができないのです。

家族の構造としての結婚と子育ての両方において、私たちの家族には、キリストを世に示す役割があります。ここでは読みませんが、エペソ人への手紙5章には、夫と妻の関係は、キリストご自身のものである教会に対する、キリストの忠実な愛を反映するものであることが明確に示されています。そして今日の聖書箇所では、キリストの花嫁、キリストにつき従う者、キリストの弟子になるためには、私たちは自分の罪のため、キリストに受け入れられるに値することは何もできない、無力な状態であることを認めなければならないことが、子どもを通して示されています。離婚、あるいは子育てをないがしろにすることは、私たちの家族におけるキリストの姿を損なうことです。ご自分に問いかけてみてください。自分の結婚関係において、また子育てにおいて、安易な道を選びますか。許されるケースであれば、あるいはパリサイ人のように、自分の考えの中では許されるとこじつけることができるなら、困難な結婚関係からの解放を求めますか？それとも、神を敬うこと、キリストに従うことに忠実を尽くし、イエスから与えられた「**神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。**」という命令を、何としてでも全うしようと努めますか？過去の罪に対しては、赦しがあります。配偶者の罪により離婚に至ることがあることも聖書においては記されています。しかし、私たちがまずイエス・キリストに忠実を尽くし、それゆえ配偶者と結婚関係に忠実を尽くそうとすると、イエス・キリストにあって見出される癒しの希望もあります。そして、子どもをイエスへと導くことを願う親にも、希望があります。キリストを第一にする子育てをあきらめないでください。あなたの親としての優先事項が、世の基準に流されてはなりません。人生のあらゆる面で救い主に従うことを求めながら、私たちの結婚と家庭において、キリストの姿を真に周囲に示していきましょう。

## Mark 10:1-16 The Follower of Christ is Committed to Family

Today's passage is all about family. In Mark 10:1-16, we see family addressed in 2 different ways, both in marriage and divorce and in the presence of children. If there is an area more under attack in today's social structure across Western and Asia societies than family, I don't know what it is. Whether it is the transgender revolution that is sweeping across the world and pushes its agenda a little more silently in Asian contexts... Or the fact that depending on the nation, 40-50% of marriages end in divorce... or the lack of a commitment to marriage at all that we see as more and more young people put off marriage later and later or not at all... or we see the assault on pregnancy and children in general as abortion rates have risen to 61% of unintended pregnancies ending in abortion – 73 Million unborn human children every year. So, when Jesus takes the time on his journey to Jerusalem, where he is going to pay for the sins of humanity on the cross, to address the issue of family, it must be a rather important thing for his followers to understand and seek the mind of Christ on.

Let's begin by reading verses 1-12 of Mark 10 and see the first way he addresses matters of family by addressing divorce. **10 And he left there and went to the region of Judea and beyond the Jordan, and crowds gathered to him again. And again, as was his custom, he taught them. <sup>2</sup> And Pharisees came up and in order to test him asked, "Is it lawful for a man to divorce his wife?" <sup>3</sup> He answered them, "What did Moses command you?" <sup>4</sup> They said, "Moses allowed a man to write a certificate of divorce and to send her away." <sup>5</sup> And Jesus said to them, "Because of your hardness of heart he wrote you this commandment, But from the beginning of creation, 'God made them male and female.' <sup>7</sup> 'Therefore a man shall leave his father and mother and hold fast to his wife, <sup>8</sup> and the two shall become one flesh.' So they are no longer two but one flesh. <sup>9</sup> What therefore God has joined together, let not man separate." <sup>10</sup> And in the house the disciples asked him again about this matter. <sup>11</sup> And he said to them, "Whoever divorces his wife and marries another commits adultery against her, <sup>12</sup> and if she divorces her husband and marries another, she commits adultery."** Jesus is continuing on his journey towards Jerusalem and has moved closer to his destination. As usual, the crowds had gathered and he is teaching. And again, we see this teaching take shape in response to the religious leaders, specifically the Pharisees asking questions intended to get him into trouble with the people and find a reason to criticize him. The text tells us they asked this question to **"test" him**. In fact, they already had certain beliefs on the issue. Jewish law allowed divorce and no faction of Jewish life believed it should be restricted. Where they disagreed was on what grounds divorce should be allowed. The Pharisees believed in nearly unrestricted divorce so it could happen for almost any reason, including such for reasons as shallow as wanting a more attractive wife. So, Jesus was not going to change their minds. But Jesus does respond to their disingenuous question and uses the Old Testament law to show God's heart on the significance of the marriage covenant to him. While we may come down with some disagreements between Bible believing Christians on the issue of divorce, what is clear from this passage, is that divorce in God's eyes is a very heavy and weighty thing in his eyes that should not be a regular occurrence. There is no place for simply treating marriage as a disposable thing to be easily walked away from.

There **are three core aspects to Jesus's argument here** that should make divorce a difficult choice for a follower of Christ. The first part of his argument is based on when we first see divorce addressed in the Bible. Verses 3-4 show us this. **<sup>3</sup> He answered**

them, “What did Moses command you?”<sup>4</sup> They said, “Moses allowed a man to write a certificate of divorce and to send her away.” The Pharisees answer to Jesus is based on Deuteronomy 24:1. It says, “When a man takes a wife and marries her, if then she finds no favor in his eyes because he has found some indecency in her, and he writes her a certificate of divorce and puts it in her hand and sends her out of his house, and she departs out of his house…” Notice the Pharisees answer is a bit different and less nuanced than what God has said through Moses in Deuteronomy. As I pointed out, they were of the belief that took this passage and said any divorce is acceptable, just write a certificate of divorce for any reason and you can kick your wife out. Remember at that time, there was no recourse for the wife. Everything in society was basically stacked against women and even those charged who were most religious acted the same way. But we need to see Jesus’s answer to see why their response is not proper to God’s command on divorce in Deuteronomy. Verse 5 says, <sup>5</sup> **And Jesus said to them, “Because of your hardness of heart he wrote you this commandment…”** This passage was not giving *carte blanche* permission to divorce at will. The pharisees looked at it as permission, whereas Jesus looked at it as restrictive. Knowing that a divorce would affect a woman far more severely than a man in society, but that men would seek to get a new wife, the Deuteronomy passage actually forces a process that should make it more difficult and hold a man more accountable should he seek to leave his wife. It would force him to list the reasons on an official divorce certificate as to why he was seeking divorce. And notice the Pharisees did not point out the whole passage in Deuteronomy where it clearly says, the husband **“has found some indecency in her…”** There were other stricter interpretations of this passage in Jewish society that said this would only apply to a situation of adultery, but the Pharisees had greatly expanded the idea of indecency to mean anything the husband did not like about his wife. So, rather than limit the reason for divorce, the Pharisees used this for permission to divorce whenever and however they wanted to. So, by forcing them to answer from the Old Testament, **Jesus is first pointing out that divorce from the beginning was to be limited and not normal.**

But then Jesus’s answer continues by looking at the reason divorce was intended to be the exception rather than the norm. Verses 6–7 say, **‘But from the beginning of creation, ‘God made them male and female.’<sup>7</sup> ‘Therefore a man shall leave his father and mother and hold fast to his wife,<sup>8</sup> and the two shall become one flesh.’ So they are no longer two but one flesh.<sup>9</sup> What therefore God has joined together, let not man separate.’** **Jesus’s second argument for the sacredness and permanence of marriage is based on the fact that marriage itself is instituted or established by God as part of his creation. It is linked in creation with our very creation as male and female. So when humans think a court or a government establishes marriage or dissolves a marriage, we are misunderstanding marriage. Just because the government says 2 men or 2 women can marry does not make it a true marriage, and we are lying to ourselves by calling it that. When a man or a woman decide they do not really think they are truly a man or a woman and begin to change themselves and call themselves by the opposite gender, they are lying to themselves about who they are. Gender and sexuality are determined by God himself, and ultimately express themselves in the two opposite sexes being joined in marriage. So to treat marriage lightly or as something that we can just leave when it gets difficult is to misunderstand the foundation of marriage. Marriage is a man and a woman joined together by God, so we must not separate those two except for the most extreme of circumstances.**

But then there is a third part of Jesus's response in verse 11 where Jesus says, "Whoever divorces his wife and marries another commits adultery against her,"<sup>12</sup> and if she divorces her husband and marries another, she commits adultery... Any response from the Pharisees is not recorded for us, but the disciples wanted to know more about what Jesus was saying, because this was so different than what their society was teaching. So, in response to the disciples Jesus now goes even further. Now, we could look at this as some Christians have and say, "look, no remarriage after divorce ever." That may be what Jesus is saying, but he definitely wants us to consider the serious nature of divorce, but even in Deuteronomy, a divorce meant that it freed a person to remarry. But what is important is to understand is that in Jewish society, a man could never wrong his wife and commit adultery against her. He could commit adultery against another man, by sleeping with that man's wife; but that act was not considered adultery against his own wife. So, again Jewish society was twisting God's ordained plan for marriage and absolving the man of any guilt while allowing him to sin towards his wife and God. Of course, Jesus isn't saying only a man could sin, he says that in the divorcing of a husband or wife there is the possibility that both are committing sin, not just the wife. I say possibility, because there are other passages where the Bible seems to indicate that there are some divorces that do not cause the one divorcing to sin. In Matthew 5:32, Jesus says, But I say to you that everyone who divorces his wife, except on the ground of sexual immorality, makes her commit adultery, and whoever marries a divorced woman commits adultery. This indicates that divorce is allowed (although not commanded) for adultery or any sexually immoral behavior. 1 Corinthians 7 seems to indicate that abandonment of the marriage is grounds for divorce when it talks about an unbelieving spouse. 1 Corinthians 7:15 says, 15 But if the unbelieving partner separates, let it be so. In such cases the brother or sister is not enslaved. God has called you to peace. There is also a case that can be made from Scripture for abuse. No one should be expected to put themselves or their children in physical danger. So, taken in light of the rest of Scripture, Jesus does not seem to be condemning all divorce, but he is saying that men and women are held to the same standard. Jesus is actually greatly elevating the status of wives and women in general in this statement.

So Jesus first addresses the wrong understanding of marriage in the Pharisees, but then Jesus addresses a different issue of family in response to the Disciples misunderstanding of children. Verses 13-16 say, <sup>13</sup> And they were bringing children to him that he might touch them, and the disciples rebuked them. <sup>14</sup> But when Jesus saw it, he was indignant and said to them, "Let the children come to me; do not hinder them, for to such belongs the kingdom of God. <sup>15</sup> Truly, I say to you, whoever does not receive the kingdom of God like a child shall not enter it." <sup>16</sup> And he took them in his arms and blessed them, laying his hands on them. I mentioned in an earlier sermon that children did not receive the same affection as children today. Childhood was something for parents to endure, and society to put up with, from birth to adulthood at which time they could be accepted as a person with value. Again, we see the disciples responding with an attitude influenced by their society rather than by Christ. And again, the Christlike response is acceptance and love for these children. They are not to be looked on as a nuisance or a stage of life that is to be endured, but to be loved and received as a gift from God. Every child in this world is an image bearer of God to be cherished. That is why the sin of abortion is so horrible. When we kill a human being, a defenseless unborn baby, and never even give that child a chance at life outside the womb, we are

treating the image of God in that child with contempt. The highest level of contempt – murder.

In accepting these children, though, Jesus is also showing parents what our goal is in raising children. It should be to point them to the kingdom of God. Just as our marriages are not simply disposable relationships, our parenting is not simply getting them to adulthood, which is what Jewish society thought. It is pointing them to the kingdom of God, which comes through salvation in Jesus Christ. Parents, our most important goal for our children is not a good education or excellence in a sport or music or even a good spouse at some point or safety and health. It is to disciple them to know and follow Jesus. That is the way we enter God's kingdom and God has given parents the opportunity to do that for their children. The church is here to assist, but the church's job is not to disciple your children, that is your job. But there is a broader point Jesus is making with these children that applies to all of us. Just like the previous case where Jesus holds up a child as an example of faith, the point here is not to see a child-like faith. It is definitely also not to see a child-like innocence as some have suggested, in fact we are all guilty of sin. [Romans 3:23 says, 23 for all have sinned and fall short of the glory of God](#)... This includes your children. The point is their helplessness. The word for children here may likely mean babies or toddlers. These are very small children who can do nothing for themselves. This is how we all must come to Christ. When we look at the children in our homes as parents or here in the church or out in town, our response should be to see ourselves before our God in the same state as that child. We need him. We are helpless without him. Our sin prevents us from knowing that our God loves us, just like a baby doesn't yet fully understand how much those parents love her.

So in the family structure itself both in marriage and parenting, our families are to show Christ to the world. Ephesians 5 that we won't read clearly shows the husband and wife relationship as reflecting Christ's faithful love for his church. And here children show that in order to become part of the Bride of Christ, one of his followers and disciples, we must come to him recognizing our own inability to do anything worthy of his acceptance because of our sin. So to divorce or to neglect parenting is to dishonor the image of Christ in our families. So, I want you to ask yourself, will you take the easy way out in your marriage or in your parenting. Will you seek relief from a difficult marriage through what may be permitted or that you can twist into permission in your mind like the Pharisees? Or, will you commit yourself to honoring God and obeying Christ by seeking at all costs to fulfill the charge given to us by Jesus that **<sup>9</sup>What therefore God has joined together, let not man separate.**" There is forgiveness for past sin. There is recognition in the Bible of a spouse's sin that leads to a divorce. But there is also hope for healing found in Jesus Christ when we commit ourselves to our spouse and to our marriage because we are first committed to Christ. And there is hope for parents who desire to lead their children to Jesus. Don't give up on parenting them in a way that prioritizes Christ. Don't let the world set your priorities as a parent. Let's make our marriages and our families truly show the image of Christ to those around us as we seek to follow our Savior in every aspect of our lives. Let's pray.